



古と新句

巻一







於玉集六

けりあけき霞す野よいつ又い

惟修山本

壬生二五上

よはよやうき指はたけり也

ひつりあまの秋は又雲

同中

うら雲のふりさけりる初秋

ひつりあまの秋は又雲

後秋上

松人のるまをうけはきりけ

ひつりあまの秋は又雲

新秋冬

よま引松山人をたけり

ひつりあまの秋は又雲

玉葉冬

きよきとあまの川のはるき

ひつりあまの秋は又雲

新秋音羅

草枯也ひねまうらうはこれ

ひつりあまの秋は又雲

新秋松三

あまの初秋とてまをいそ

ひつりあまの秋は又雲

新秋松三

うら雲のふりさけりる初秋

ひつりあまの秋は又雲

新秋音羅

雲の初秋とてまをいそ

ひつりあまの秋は又雲

風雅秋上

けりあけき霞す野よいつ又い

ひつりあまの秋は又雲

玉葉秋上

よはよやうき指はたけり也

ひつりあまの秋は又雲

同雅三

うら雲のふりさけりる初秋

ひつりあまの秋は又雲

後秋撰秋上

松人のるまをうけはきりけ

ひつりあまの秋は又雲

後千載上

あまの初秋とてまをいそ

ひつりあまの秋は又雲

玉葉冬

きよきとあまの川のはるき

ひつりあまの秋は又雲

新秋秋下

草枯也ひねまうらうはこれ

ひつりあまの秋は又雲

新秋二

うら雲のふりさけりる初秋

ひつりあまの秋は又雲

後千載四

あまの初秋とてまをいそ

ひつりあまの秋は又雲

松遺草集

あまの初秋とてまをいそ

ひつりあまの秋は又雲

後千載四

あまの初秋とてまをいそ

ひつりあまの秋は又雲

拾玉集四

あまの初秋とてまをいそ

ひつりあまの秋は又雲

古今意五

あまの初秋とてまをいそ

ひつりあまの秋は又雲

秋意三

あまの初秋とてまをいそ

ひつりあまの秋は又雲

風雅秋下

あまの初秋とてまをいそ

ひつりあまの秋は又雲

後千載下

あまの初秋とてまをいそ

ひつりあまの秋は又雲

松遺草上

あまの初秋とてまをいそ

ひつりあまの秋は又雲

後千載三

あまの初秋とてまをいそ

ひつりあまの秋は又雲

風雅意三

あまの初秋とてまをいそ

ひつりあまの秋は又雲

新秋意六

あまの初秋とてまをいそ

ひつりあまの秋は又雲

松遺草中

あまの初秋とてまをいそ

ひつりあまの秋は又雲

同

あまの初秋とてまをいそ

ひつりあまの秋は又雲

新秋意三

あまの初秋とてまをいそ

ひつりあまの秋は又雲

新秋拾秋上

あまの初秋とてまをいそ

ひつりあまの秋は又雲

古今意四

あまの初秋とてまをいそ

ひつりあまの秋は又雲

松遺草上

あまの初秋とてまをいそ

ひつりあまの秋は又雲

九月

太政大臣

寵

素性法師

順徳院法司

後千載上

松遺草上

後千載三

風雅意三

新秋意六

松遺草中

同

新秋意三

新秋拾秋上

古今意四

松遺草上

後千載四

松遺草集

後千載四

拾遺貞聖

秋のそとをきめつる乃乃あけりよ

心もなきと思ひ事つらん

後三位右京守

風雅社下

秋乃をせ尾上乃ちかきまゝとて人の

心もなきと思ひ事つらん

伏見院

後拾遺三

山はあけの縁乃はらり

心もなきと思ひ事つらん

権律師

壬生三上

思乃への里れあふとてあけ

心もなきと思ひ事つらん

大僧正

秋古社中

秋乃をせ尾上乃ちかきまゝとて人の

心もなきと思ひ事つらん

大僧正

月清集下

君より思ひしむ世中乃

心もなきと思ひ事つらん

業平朝臣

後古社一

君より思ひしむ世中乃

心もなきと思ひ事つらん

後三位

壬生三下

晨明の月よみし世中乃

心もなきと思ひ事つらん

大僧正

山家集上

秋乃をせ尾上乃ちかきまゝとて人の

心もなきと思ひ事つらん

大僧正

新勅志一

我の心もなきと思ひ事つらん

心もなきと思ひ事つらん

大納言

玉葉社一

我の心もなきと思ひ事つらん

心もなきと思ひ事つらん

大納言

後古社教

我の心もなきと思ひ事つらん

心もなきと思ひ事つらん

大納言

子載志一

我の心もなきと思ひ事つらん

心もなきと思ひ事つらん

大納言

風雅志一

我の心もなきと思ひ事つらん

心もなきと思ひ事つらん

大納言

新葉志二

我の心もなきと思ひ事つらん

心もなきと思ひ事つらん

大納言

初元志下

我の心もなきと思ひ事つらん

心もなきと思ひ事つらん

和泉式部

後千志一

我の心もなきと思ひ事つらん

心もなきと思ひ事つらん

大納言

新千社下

我の心もなきと思ひ事つらん

心もなきと思ひ事つらん

大納言

風雅志一

我の心もなきと思ひ事つらん

心もなきと思ひ事つらん

大納言

新古志一

我の心もなきと思ひ事つらん

心もなきと思ひ事つらん

大納言

拾遺志三

我の心もなきと思ひ事つらん

心もなきと思ひ事つらん

大納言

拾遺志三

我の心もなきと思ひ事つらん

心もなきと思ひ事つらん

大納言

横笛

我の心もなきと思ひ事つらん

心もなきと思ひ事つらん

大納言

玉葉社一

我の心もなきと思ひ事つらん

心もなきと思ひ事つらん

大納言

古今羅様

我の心もなきと思ひ事つらん

心もなきと思ひ事つらん

大納言

千載志一

我の心もなきと思ひ事つらん

心もなきと思ひ事つらん

大納言

拾玉集二

我の心もなきと思ひ事つらん

心もなきと思ひ事つらん

大納言

同

我の心もなきと思ひ事つらん

心もなきと思ひ事つらん

大納言

新古拾遺上

我の心もなきと思ひ事つらん

心もなきと思ひ事つらん

大納言

風雅志二

我の心もなきと思ひ事つらん

心もなきと思ひ事つらん

大納言

新葉志一

我の心もなきと思ひ事つらん

心もなきと思ひ事つらん

大納言

五葉雅集  
新於氣傷  
千載哀傷  
早慶  
風雅雜下  
後撰雜四  
後千巻四  
山家集下  
拾遺集上  
山家集下  
古今群籍  
玉葉雅集  
拾玉集四  
山家集下  
古今三  
山家集上

なみそとるてもうきあめま  
いそのもまりうきあめま  
まろもあそびあそびあそび  
さきさきいづれはあそびあそび  
いそまのあそびあそびあそび  
みえもあそびあそびあそび  
あひまのあそびあそびあそび  
今いそとあそびあそびあそび  
あそびあそびあそびあそび  
あそびあそびあそびあそび  
あそびあそびあそびあそび  
あそびあそびあそびあそび

あそびあそびあそびあそび  
あそびあそびあそびあそび  
あそびあそびあそびあそび  
あそびあそびあそびあそび  
あそびあそびあそびあそび  
あそびあそびあそびあそび  
あそびあそびあそびあそび  
あそびあそびあそびあそび  
あそびあそびあそびあそび  
あそびあそびあそびあそび  
あそびあそびあそびあそび  
あそびあそびあそびあそび

あそびあそびあそびあそび  
あそびあそびあそびあそび  
あそびあそびあそびあそび  
あそびあそびあそびあそび  
あそびあそびあそびあそび  
あそびあそびあそびあそび  
あそびあそびあそびあそび  
あそびあそびあそびあそび  
あそびあそびあそびあそび  
あそびあそびあそびあそび  
あそびあそびあそびあそび  
あそびあそびあそびあそび

新於氣傷  
千載哀傷  
早慶  
風雅雜下  
後撰雜四  
後千巻四  
山家集下  
拾遺集上  
山家集下  
古今群籍  
玉葉雅集  
拾玉集四  
山家集下  
古今三  
山家集上

なみそとるてもうきあめま  
いそのもまりうきあめま  
まろもあそびあそびあそび  
さきさきいづれはあそびあそび  
いそまのあそびあそびあそび  
みえもあそびあそびあそび  
あひまのあそびあそびあそび  
今いそとあそびあそびあそび  
あそびあそびあそびあそび  
あそびあそびあそびあそび  
あそびあそびあそびあそび  
あそびあそびあそびあそび  
あそびあそびあそびあそび  
あそびあそびあそびあそび  
あそびあそびあそびあそび

平時村  
赤深  
平雅康  
伏見院  
天曆  
源安門院  
源頼実  
院  
長



強千集下 平形之山の橋をいづり  
 一生二上 山重門四の橋をいづり  
 拾玉集一 雲のまをよはるる衣  
 金葉集 雲のまをよはるる衣  
 風雅集上 山本の雲をいづり  
 山家集下 雲をいづり  
 強後拾遺四 雲をいづり  
 拾遺別 雲をいづり  
 拾玉集五 雲をいづり  
 金葉集四 雲をいづり  
 強後拾遺四 雲をいづり  
 同 雲をいづり  
 拾遺志三 雲をいづり  
 拾遺志二 雲をいづり  
 風雅集四 雲をいづり  
 拾遺集上 雲をいづり  
 玉葉集五 雲をいづり  
 拾玉集一 雲をいづり

花山院法親王  
 一かあさるる衣  
 源師賢頼  
 永福門院  
 如願法師  
 法親王  
 右大お朝  
 後醍醐院  
 在元元方  
 大僧正行也

新千集下 花をいづり  
 拾遺志七 花をいづり  
 拾遺志六 花をいづり  
 新千離別 花をいづり  
 千載物名 花をいづり  
 後拾遺志三 花をいづり  
 後拾遺志二 花をいづり  
 月清集 花をいづり  
 同 花をいづり  
 新拾遺志四 花をいづり  
 大和物語 花をいづり  
 新後集上 花をいづり  
 千載志 花をいづり  
 強拾遺上 花をいづり  
 玉葉集三 花をいづり  
 新後集 花をいづり

伏見院法親王  
 刑部卿  
 後醍醐院  
 律師長保  
 和泉式部  
 三条右大臣  
 法衣寺  
 井内侍  
 百内侍  
 院少内侍  
 法衣寺  
 法衣寺



壬生二平上 十載哀傷 拾玉集五 玉葉雅三 拾遺五平 後撰五平 拾遺五平 後撰五平 大和物語 新千載傷 月詠集上 同下 拾遺五平 拾玉集四 後撰拾遺 拾遺五平 後撰五平

みふ木は流すはぬあつてよ  
秋の月 かなしきのうも秋の月  
あまのとはあけぬと昔の藤  
吹風のこともあけぬと昔の藤  
みりすうらうとまはのあまの藤  
あまのとはあけぬと昔の藤  
あまのとはあけぬと昔の藤  
あまのとはあけぬと昔の藤  
あまのとはあけぬと昔の藤

いづりなれば物さきまの  
いづりなれば物さきまの  
いづりなれば物さきまの  
いづりなれば物さきまの  
いづりなれば物さきまの  
いづりなれば物さきまの  
いづりなれば物さきまの  
いづりなれば物さきまの  
いづりなれば物さきまの  
いづりなれば物さきまの

國位法師

大宰府

中興丈夫家房

壬生二平上 玉葉雅三 新千載傷 後撰五平 拾遺五平 拾玉集七 新拾遺傷 幻 新古雜上 同尺教 拾遺五草 同中 新拾遺傷 千載雜上 新古雜上 新勅秋上 壬生二平中

いづりなれば物さきまの  
いづりなれば物さきまの  
いづりなれば物さきまの  
いづりなれば物さきまの  
いづりなれば物さきまの  
いづりなれば物さきまの  
いづりなれば物さきまの  
いづりなれば物さきまの  
いづりなれば物さきまの  
いづりなれば物さきまの

いづりなれば物さきまの  
いづりなれば物さきまの  
いづりなれば物さきまの  
いづりなれば物さきまの  
いづりなれば物さきまの  
いづりなれば物さきまの  
いづりなれば物さきまの  
いづりなれば物さきまの  
いづりなれば物さきまの  
いづりなれば物さきまの

人磨

新院法師

新院法師

境空上人

法平靜賢

律出法師

先師法入

弘照法師

瓊子内親

園白太片





金葉秋 色はもいさふは雲のあまのち  
 千秋哀傷 ちくれとあまんとあまは我がか  
 後拾遺集 ふうあつねぬ長夜をささる  
 後古雅上 秋風の初もは萩のまきまき  
 拾遺集上 夕まくれ竹のこ山まきまき  
 後古雅上 年許あつねのまきまき  
 壬生三子中 いとほのまきまきのまきまき  
 新に拾遺集 ちまきまきのまきまきのまきまき  
 後拾遺集秋 つまきまきのまきまきのまきまき  
 新古冬 今つまきまきのまきまきのまきまき  
 新十雅中 君よ我がまきのまきまきのまきまき  
 拾玉集三 ちまきまきのまきまきのまきまき  
 同 つまきまきのまきまきのまきまき  
 後拾遺冬 けのまきまきのまきまきのまきまき  
 拾玉集四 ちまきまきのまきまきのまきまき  
 同五 ちまきまきのまきまきのまきまき  
 新勅意及 ちまきまきのまきまきのまきまき  
 玉葉冬四 ちまきまきのまきまきのまきまき

後拾遺集

顯仲心女

道命法師

并内侍

後二位家隆

津守四平

順徳院法親王

前大僧正隆弁

源具親

大納言為世

大納言忠良

定家

太宰大貳

玉之

後拾遺集四 秋葉のまきまきのまきまきのまきまき  
 古今秋上 秋葉の下葉まきのまきまきのまきまき  
 後拾遺集 馬羽玉は秋風まきのまきまきのまきまき  
 拾玉集六 小秋葉は秋風まきのまきまきのまきまき  
 新古雅中 秋風の月まきのまきまきのまきまき  
 拾遺集草 かりねまきのまきまきのまきまきのまきまき  
 小葉集 草まきのまきまきのまきまきのまきまき  
 同冬 ちまきのまきまきのまきまきのまきまき  
 千秋秋下 ちまきのまきまきのまきまきのまきまき  
 風雅雜下 月は入給まきのまきまきのまきまきのまきまき  
 新十雅上 清見まきのまきまきのまきまきのまきまき  
 新後冬 心まきのまきまきのまきまきのまきまき  
 風雅秋中 ちまきのまきまきのまきまきのまきまき  
 後古雅中 ちまきのまきまきのまきまきのまきまき  
 後古雅上 ちまきのまきまきのまきまきのまきまき  
 風雅春中 ちまきのまきまきのまきまきのまきまき

九条右大臣

雅成親王

源俊賴朝臣

左近中将為春

綱平門院

道性法親王

法平并教

普光国入

源内大臣

藤原法親王

後藤成仲

小侍後

後拾遺集

新勅書上	昔のいへはさかたわけたしめぬ	ひりりんやうやう	山上憶良
後拾遺集	たしひまや山のあはれ	ひらりまやの月とまな	法成入彦
拾遺雜書	とほらとありし世のまを	ひらり見まう秋風さうり	よらふあふ
風雅書中	雅ももきあをさうりとま	ひらりみまう秋風さうり	法橋聖眼
玉葉雜四	あうまをいひけうま	ひらりまの月とまな	院清製衣
拾遺書草	るれまのうのひう	ひらりまの月とまな	
壬生二平中	草も木もさそ	ひらりまの月とまな	
拾遺書友	郭もあまの月とまな	ひらりまの月とまな	
拾遺書草	うらりあし心はま	ひらりまの月とまな	
新勅書	結人もあまの月とまな	ひらりまの月とまな	
新勅書傷	雅もみまの月とまな	ひらりまの月とまな	
新勅書三	らうらうらうの月とまな	ひらりまの月とまな	
新勅書下	秋のまの月とまな	ひらりまの月とまな	
後拾遺集上	まのまの月とまな	ひらりまの月とまな	
風雅書下	たしあまの月とまな	ひらりまの月とまな	
玉葉書五	まのまの月とまな	ひらりまの月とまな	
新古交	はらまの月とまな	ひらりまの月とまな	
後拾遺集上	まのまの月とまな	ひらりまの月とまな	

千載志三	秋のまの月とまな	ひらりまの月とまな	於女下
金葉秋	山乃しよ雲はるの	ひらりまの月とまな	源俊賴朝臣
壬生三平上	秋のまの月とまな	ひらりまの月とまな	
早蕨	人みみの月とまな	ひらりまの月とまな	
玉葉雜四	山乃しよ雲はるの	ひらりまの月とまな	
新勅書下	秋のまの月とまな	ひらりまの月とまな	
新勅書上	まのまの月とまな	ひらりまの月とまな	
後拾遺集	秋のまの月とまな	ひらりまの月とまな	
拾玉集四	心まの月とまな	ひらりまの月とまな	
新勅書三	結いもあまの月とまな	ひらりまの月とまな	
同衣傷	かひもあまの月とまな	ひらりまの月とまな	
後撰書二	かくらうつひる	ひらりまの月とまな	
小家集下	我くもあまの月とまな	ひらりまの月とまな	
同上	名跡もあまの月とまな	ひらりまの月とまな	
拾遺書草	秋のまの月とまな	ひらりまの月とまな	
壬生二平上	古もあまの月とまな	ひらりまの月とまな	
玉葉雜四	かひもあまの月とまな	ひらりまの月とまな	
古今志四	まのまの月とまな	ひらりまの月とまな	

平行盛  
源光行  
崇徳院御製  
定家公著  
橋義貞  
惟賢上人  
平時卿御作









新千巻下 くらを丹さるるのめも乃らけ  
拾遺愚草 くらをのめさるるのめも乃らけ  
新葉露珠 くらをのめさるるのめも乃らけ  
夜衣四 くらをのめさるるのめも乃らけ  
拾遺愚草上 くらをのめさるるのめも乃らけ  
同 くらをのめさるるのめも乃らけ  
月清集上 くらをのめさるるのめも乃らけ  
お葉冬 くらをのめさるるのめも乃らけ  
新勅巻三 くらをのめさるるのめも乃らけ  
新勅巻中 くらをのめさるるのめも乃らけ  
新古冬 くらをのめさるるのめも乃らけ  
拾遺愚草下 くらをのめさるるのめも乃らけ  
新千册旅 くらをのめさるるのめも乃らけ  
拾遺愚草中 くらをのめさるるのめも乃らけ  
新勅巻下 くらをのめさるるのめも乃らけ  
後世撰冬 くらをのめさるるのめも乃らけ

新千巻下

後世撰冬

必真云

常盤敷

俊忠法行

法不愚基

拾遺愚草上

中野宗景

正三位家隆

太中地言宗家

後衣一 くらをのめさるるのめも乃らけ  
同四 くらをのめさるるのめも乃らけ  
新千巻三 くらをのめさるるのめも乃らけ  
新道愚草上 くらをのめさるるのめも乃らけ  
新千賀 くらをのめさるるのめも乃らけ  
同勅巻旅 くらをのめさるるのめも乃らけ  
新葉露珠 くらをのめさるるのめも乃らけ  
新千雅上 くらをのめさるるのめも乃らけ  
月清集下 くらをのめさるるのめも乃らけ  
新勅巻四 くらをのめさるるのめも乃らけ  
拾遺愚草上 くらをのめさるるのめも乃らけ  
新千巻 くらをのめさるるのめも乃らけ  
心家集上 くらをのめさるるのめも乃らけ  
新千巻四 くらをのめさるるのめも乃らけ  
金葉巻 くらをのめさるるのめも乃らけ  
壬生二系中 くらをのめさるるのめも乃らけ  
新勅巻上 くらをのめさるるのめも乃らけ

新千巻下

後世撰冬

必真云

常盤敷

俊忠法行

法不愚基

拾遺愚草上

中野宗景

-5 800 15 915" data-label="Text">

正三位家隆

-25 800 45 915" data-label="Text">

太中地言宗家

後拾遺春

後撰卷中

新古今

孫吉春上

月清集上

新古今集上

月清集上

新古今秋上

拾遺卷中

同上

壬生二系下

新拾遺卷

月清集上

拾遺卷中

新古今三

孫古秋上

孫千三

長秋詠藻

カウ...の...の...の...の...

花...の...の...の...の...

さ...の...の...の...の...

い...の...の...の...の...

山...の...の...の...の...

ま...の...の...の...の...

若...の...の...の...の...

風...の...の...の...の...

夕...の...の...の...の...

先...の...の...の...の...

ワ...の...の...の...の...

武...の...の...の...の...

新...の...の...の...の...

り...の...の...の...の...

竹...の...の...の...の...

雅...の...の...の...の...

福...の...の...の...の...

曾孫好忠

村上具則

惟宗光之弟

友原清盛

賀茂行久

院清御

院清御

院清御

院清御

院清御

院清御

院清御

院清御

院清御

院清御

院清御

院清御

新古今三

新葉卷四

新後雜下

孫拾遺卷

孫古春下

新勅卷二

大和抄後

拾遺卷中

大和抄後

新子秋下

壬生二系中

古今雜下

拾遺雜卷

新千雜上

後拾遺卷四

拾玉集一

新古今卷上

清かりた...の...の...の...

ろ...の...の...の...の...

あ...の...の...の...の...

傍...の...の...の...の...

た...の...の...の...の...

あ...の...の...の...の...

五...の...の...の...の...

あ...の...の...の...の...

ま...の...の...の...の...

浦...の...の...の...の...

あ...の...の...の...の...

あ...の...の...の...の...

あ...の...の...の...の...

あ...の...の...の...の...

あ...の...の...の...の...

あ...の...の...の...の...

あ...の...の...の...の...

あ...の...の...の...の...

有原能永

中院入道一平

有原能永

有原能永

有原能永

有原能永

有原能永

有原能永

有原能永

有原能永

有原能永

有原能永

有原能永

有原能永

有原能永

有原能永

有原能永

有原能永

新初冬 ねくふらのまゝあきほ雪ま  
新後拾秋上 かねくもはもとまるもの  
疎古春上 ともうき常とこまは梅のま  
千秋夜 なるもまへまはちまは  
新古秋上 まゆの月まつるはれ神乃うま  
同卷一 かのまはちのうけのまは  
古今離別 かつまをてまはちのうけのまは  
夜衣三 かのまはちのうけのまは  
同一 けうのうけのまはちのうけのまは  
壬生二平上 秋風のうらまへ青うらまはれ  
莪 ちかぢまはちのうけのまは  
拾遺五草 山乃るまはちのうけのまは  
疎拾器俵 旅衣まはちのうけのまは  
新古秋上 秋の荒まはちのうけのまは  
壬生三平上 けうのまはちのうけのまは  
長秋詠藤下 ちかぢまはちのうけのまは  
疎拾器賀 ちかぢまはちのうけのまは  
風雅冬 月乃るまはちのうけのまは

基俊

山階元在存

院大德寺典侍

前系後教長

有系家隆

侍

了ゆき

如願法師

皇太后太女  
後感女

元備

永福門院

新子冬 きののつら跡の小はれもねまて  
壬生二平上 かねくもはもとまるもの  
新後拾秋上 かねくもはもとまるもの  
月清集上 かねくもはもとまるもの  
疎千雪下 かねくもはもとまるもの  
新拾春上 かねくもはもとまるもの  
拾遺五草 かねくもはもとまるもの  
同上 かねくもはもとまるもの  
同上 かねくもはもとまるもの  
千秋世上 かねくもはもとまるもの  
壬生二平上 かねくもはもとまるもの  
疎拾器賀 かねくもはもとまるもの  
月清集上 かねくもはもとまるもの  
拾遺五草 かねくもはもとまるもの  
同上 かねくもはもとまるもの  
同上 かねくもはもとまるもの  
拾遺五草 かねくもはもとまるもの  
同上 かねくもはもとまるもの  
同上 かねくもはもとまるもの  
月清集上 かねくもはもとまるもの

二法親王

有系秀茂

有系大德寺  
正三位知家

有系大德寺  
正三位知家

有系大德寺  
正三位知家

有系大德寺  
正三位知家

有系大德寺  
正三位知家

有系大德寺  
正三位知家

有系大德寺  
正三位知家

有系大德寺  
正三位知家

有系大德寺  
正三位知家

有系大德寺  
正三位知家

有系大德寺  
正三位知家

有系大德寺  
正三位知家

有系大德寺  
正三位知家

有系大德寺  
正三位知家

有系大德寺  
正三位知家

有系大德寺  
正三位知家

有系大德寺  
正三位知家

有系大德寺  
正三位知家

有系大德寺  
正三位知家

有系大德寺  
正三位知家

有系大德寺  
正三位知家

後千尺教 平雲晴く老とをまらたまさき守  
ひつらよまら秋のふれ月 前大徳正良信  
後拾遺教 心ゆくよりの形をほらよハ  
ひつらあしけのさきり感り 古大徳正良信

拾五集二 雲乃川へ後乃ち舟波あひ  
ひつら川りよちりよる水  
風雅春中 ささきぬ指のたもよとく  
ひつらあしけに如むる香 朝平門院  
新千尺教 ありて世のよとむるまきま  
ひつらあしけの月をさる計 法正寛実  
同 きの南さうつらしたあ新  
ひつらまら月をさる 法正朝実

風雅尺教 心と三乃車よかけり  
ひつらまらぬあしけの心 太上天白主  
同 新しきことさるわいさし  
ひつらまらぬあしけの心 入道大徳正良

後拾遺教 心ゆくよりの形をほらよハ  
ひつらあしけのさきり感り 古大徳正良信

後拾尺教 いつへの水のみさきいさして  
ひつらあしけの月をさる計 法正朝実

山家集下 心ゆくよりの形をほらよハ  
ひつらあしけのさきり感り 古大徳正良信

古葉秋上 月影のあつを雲井よとさる  
ひつらあしけの月をさる計 法正朝実

古今巻一 多末のよとつらよちり  
ひつらあしけの月をさる計 法正朝実

新千尺教 ささきぬ指のたもよとく  
ひつらあしけの月をさる計 法正朝実

山家集下 心ゆくよりの形をほらよハ  
ひつらあしけのさきり感り 古大徳正良信

拾遺教 心ゆくよりの形をほらよハ  
ひつらあしけのさきり感り 古大徳正良信

後拾遺教 心ゆくよりの形をほらよハ  
ひつらあしけのさきり感り 古大徳正良信

古今巻二 ささきぬ指のたもよとく  
ひつらあしけの月をさる計 法正朝実

後撰集下 ささきぬ指のたもよとく  
ひつらあしけの月をさる計 法正朝実

拾遺教 心ゆくよりの形をほらよハ  
ひつらあしけのさきり感り 古大徳正良信

後拾遺教 心ゆくよりの形をほらよハ  
ひつらあしけのさきり感り 古大徳正良信

秋古雅下 ささきぬ指のたもよとく  
ひつらあしけの月をさる計 法正朝実

後撰集下 ささきぬ指のたもよとく  
ひつらあしけの月をさる計 法正朝実

大和抄 心ゆくよりの形をほらよハ  
ひつらあしけのさきり感り 古大徳正良信

拾遺教 心ゆくよりの形をほらよハ  
ひつらあしけのさきり感り 古大徳正良信

拾五集四 ささきぬ指のたもよとく  
ひつらあしけの月をさる計 法正朝実

新千尺下 ささきぬ指のたもよとく  
ひつらあしけの月をさる計 法正朝実

玉葉尺教	けりくよちの草花の種あり	ひらわりのそくをみるや	宗正院御製
新撰拾雅春	をきくもあやむるはむね	いづれもまはるまつむら	源直氏
新撰古尺教	さかしくは三杯事なりけれも	いづれもあやむるあやん	念道三親 <small>秋助</small>
拾玉集八	ふらわつり一のふらうとそも	いづれも法のまきくえれ	隆寛
新撰雅中	まらぬは流乃まのあやうとそ	いづれもまはる谷川のま	蓮生法師
拾玉集又	ゆらあやひのあやうとそあひ	いづれも山伏のしる雪	定家
後拾遺多品	君さうをさうとそあはれと	いづれもせぬあやうとそ	和泉式部
拾玉集四	秋乃山はあやむる宿村はれは	いづれも入る月はつらん	
柏木	かたよまはあやむる秋のまき	いづれもまきおの指あり	重之
新撰拾名	らうあやう一はあやむるあ	いづれもあやむるあやう	
新撰拾名三	いづれもあやむるあやうとそ	いづれもあやむるあやう	
新撰拾名傷	さうあやうあやむるあやう	いづれもあやむるあやう	
千秋秋下	あやうあやむるあやうとそ	いづれもあやむるあやう	
拾遺冬	いづれもあやむるあやうとそ	いづれもあやむるあやう	
山家集	みづあやむるあやうとそ	いづれもあやむるあやう	
金葉秋	七文尺昔のまらあやうとそ	いづれもあやむるあやう	
拾玉集三	つらあやむるあやうとそ	いづれもあやむるあやう	
新撰雅四	足柄の開はあやむるあやう	いづれもあやむるあやう	

風雅雅中	宿くよたつ煙乃まきあひ	いづれもあやむるあやう	従二位あり
拾玉集四	花のあやむるあやうとそ	いづれもあやむるあやう	
同七	あやうあやむるあやうとそ	いづれもあやむるあやう	
同二	うき世あやむるあやうとそ	いづれもあやむるあやう	
壬生二上	くりあやむるあやうとそ	いづれもあやむるあやう	
風雅秋下	うらあやむるあやうとそ	いづれもあやむるあやう	
玉葉春下	あやうあやむるあやうとそ	いづれもあやむるあやう	
秋古友	あやうあやむるあやうとそ	いづれもあやむるあやう	
壬生二上	あやうあやむるあやうとそ	いづれもあやむるあやう	
玉葉冬四	あやうあやむるあやうとそ	いづれもあやむるあやう	
後千雅中	あやうあやむるあやうとそ	いづれもあやむるあやう	
拾遺地名	あやうあやむるあやうとそ	いづれもあやむるあやう	
玉葉雅八	あやうあやむるあやうとそ	いづれもあやむるあやう	
新撰古尺教	あやうあやむるあやうとそ	いづれもあやむるあやう	
拾遺冬四	あやうあやむるあやうとそ	いづれもあやむるあやう	
大和御所	あやうあやむるあやうとそ	いづれもあやむるあやう	
拾玉集七	あやうあやむるあやうとそ	いづれもあやむるあやう	
壬生二上	あやうあやむるあやうとそ	いづれもあやむるあやう	

和泉式部  
平貞宣  
みづひ  
和泉式部  
大に廣秀  
右近

新古今下 何れはよき世まふくやとす  
新古今四 教をうぬいと世にまふくや  
新古今一 梅のつゆはうつらうつらあはれ  
古今書上 鳴るよはうつらうつらあはれ  
拾遺集三 ちりちりよはうつらうつらあはれ  
梅枝 ちりちりよはうつらうつらあはれ  
新古今四 跡つぎぬ世ともたせんまのゆき  
同冬 常よりよはうつらうつらあはれ  
新拾遺中 ちりちりよはうつらうつらあはれ  
新拾遺二 ちりちりよはうつらうつらあはれ  
新葉三 ちりちりよはうつらうつらあはれ  
新拾遺三 ちりちりよはうつらうつらあはれ  
新拾遺二 ちりちりよはうつらうつらあはれ  
新拾遺三 ちりちりよはうつらうつらあはれ  
新拾遺三 ちりちりよはうつらうつらあはれ  
新拾遺三 ちりちりよはうつらうつらあはれ

大僧正

氏

大僧正

新古今傷 何れはよき世まふくやとす  
新古今四 教をうぬいと世にまふくや  
新古今一 梅のつゆはうつらうつらあはれ  
古今書上 鳴るよはうつらうつらあはれ  
拾遺集三 ちりちりよはうつらうつらあはれ  
梅枝 ちりちりよはうつらうつらあはれ  
新古今四 跡つぎぬ世ともたせんまのゆき  
同冬 常よりよはうつらうつらあはれ  
新拾遺中 ちりちりよはうつらうつらあはれ  
新拾遺二 ちりちりよはうつらうつらあはれ  
新葉三 ちりちりよはうつらうつらあはれ  
新拾遺三 ちりちりよはうつらうつらあはれ  
新拾遺二 ちりちりよはうつらうつらあはれ  
新拾遺三 ちりちりよはうつらうつらあはれ  
新拾遺三 ちりちりよはうつらうつらあはれ  
新拾遺三 ちりちりよはうつらうつらあはれ

源三郎氏

源三郎氏

源三郎氏

源三郎氏

源三郎氏

源三郎氏

源三郎氏

源三郎氏

源三郎氏

源三郎氏

源三郎氏

源三郎氏

源三郎氏







拾遺雜春 一のりといさげのさうはなれ  
 新葉秋紙 ちみとわく厚しとい世そ在清水  
 陸古秋紙 ひさびさく君さまをねぢさし  
 月清集上 世中一虎狼なるふるす  
 後撰卷一 牙城のけくわまほしむね  
 凡雅雜上 花のまは昔よりいふつれ  
 後拾遺雜 思ひまわつともいひまを  
 拾玉集六 けいねれもつる宿のこもあな  
 後拾遺卷五 きふい君いふる野合を直さ  
 新後尺教 いをたけ我のそいけつぬ  
 拾遺卷中 大なるねのさ年ぬぬ  
 後拾遺卷三 ちとさいひて絶たぬぬ  
 新後卷四 真まかよはなうりしきうねむ  
 新葉卷三 ありも神さすのまろくくわ  
 巻 ちとちもいふぬ雪のあひふ  
 拾遺卷四 けい水のあなをさうさささう  
 同巻五 けい水のあなをさうさささう  
 後拾遺卷 海川もろくみあけりたことを

ひのつらふもわいとをう 玉盛牙  
 ひのつらふと神も思つ 佛御衆  
 ひのつらふら我らうのあ 平長時  
 ひの口もたはゆふれ ともちん  
 ひのつらふといひる物を 伴勢  
 ひのつらふもわわぬぬ 法眼源賢  
 ひのつらふたえん 智民成助  
 ひのつらふわぬぬ 後醍醐院製  
 ひのつらふとてさささ けい文  
 ひのつらふもろ絶世をり 高太政大臣  
 ひのつらふといひかたをぬぬ 高安天野  
 ひのつらふとてさささ ともちん  
 ひのつらふせぬぬぬぬ 同  
 ひのつらふとてさささ 先考香齋製

後撰雜三 大なるゆさうさうはなれ  
 拾玉集五 うら山のありしとさうらのさ  
 月清集上 雪あつるさうゆふりあはる  
 新後卷三 けい水のあなをさうさささ  
 古今序 けい水のあなをさうさささ  
 同巻四 けい水のあなをさうさささ  
 新子非後 けい水のあなをさうさささ  
 拾遺卷中 けい水のあなをさうさささ  
 後撰卷四 ひのつらふとてさささ  
 拾玉集三 うら山のありしとさうらのさ  
 玉集卷二 けい水のあなをさうさささ  
 新拾遺二 いあふらねのまゝ細けい  
 玉集卷三 月影のあなをさうさささ  
 新拾遺三 月影のあなをさうさささ  
 拾玉集六 山の湯候何れとてさささ  
 新千々 山候はるあなをさうさささ  
 拾遺卷中 うら山のありしとさうらのさ  
 新拾遺四 けい水のあなをさうさささ

ひのつらふぬぬぬぬぬ ともちん  
 ひのつらふぬぬぬぬぬ 伊勢大輔  
 ひのつらふぬぬぬぬぬ 高太政大臣  
 ひのつらふぬぬぬぬぬ 贈太政大臣  
 ひのつらふぬぬぬぬぬ 和泉式部  
 ひのつらふぬぬぬぬぬ 其後  
 ひのつらふぬぬぬぬぬ 衣原詞子  
 ひのつらふぬぬぬぬぬ 天曆抄製  
 ひのつらふぬぬぬぬぬ 皇表宣  
 ひのつらふぬぬぬぬぬ 小町



類聚の

地五

玉葉巻四 いづれもいづれもいづれもいづれも 和泉式部  
 新撰拾遺三 いづれもいづれもいづれもいづれも 同  
 拾遺雑巻 あつちうやうやうやうやうやう 大中臣能宣  
 新勅巻四 あつちうやうやうやうやうやう 延茂吉備  
 古今春下 様をたもつちうやうやうやうやう つゆき  
 後拾遺春上 いづれもいづれもいづれもいづれも 若菜清盛  
 同巻四 いづれもいづれもいづれもいづれも 中条朝盛  
 後撰撰春中 今も又たうやうやうやうやうやう 大政大臣  
 新勅雑二 いづれもいづれもいづれもいづれも 若菜行徳  
 後拾遺四 あつちうのみちやうやうやうやう 大納言良教  
 壬生二系下 あつちうのゆきやうやうやうやう 大納言実家  
 新勅巻一 あつちうのゆきやうやうやうやう 大納言実家  
 壬生二系下 あつちうのゆきやうやうやうやう 大納言実家  
 後千巻三 あつちうのゆきやうやうやうやう 大納言実家  
 壬生二系上 あつちうのゆきやうやうやうやう 大納言実家  
 古今巻五 あつちうのゆきやうやうやうやう 大納言実家  
 同 あつちうのゆきやうやうやうやう 大納言実家  
 拾玉集六 あつちうのゆきやうやうやうやう 大納言実家

新古巻 あつちうのゆきやうやうやうやう 皇太后  
 新勅巻四 あつちうのゆきやうやうやうやう 中条能宣  
 後撰春上 あつちうのゆきやうやうやうやう ようやう  
 拾遺巻上 あつちうのゆきやうやうやうやう 中条能宣  
 新勅雑二 あつちうのゆきやうやうやうやう 中条能宣  
 新撰雑上 あつちうのゆきやうやうやうやう 中条能宣  
 長秋詠藻下 あつちうのゆきやうやうやうやう 中条能宣  
 壬生二系中 あつちうのゆきやうやうやうやう 中条能宣  
 新撰古巻 あつちうのゆきやうやうやうやう 中条能宣  
 風雅春下 あつちうのゆきやうやうやうやう 中条能宣  
 拾玉集六 あつちうのゆきやうやうやうやう 中条能宣  
 新千巻一 あつちうのゆきやうやうやうやう 中条能宣  
 新千巻四 あつちうのゆきやうやうやうやう 中条能宣  
 古今巻五 あつちうのゆきやうやうやうやう 中条能宣  
 新撰秋巻 あつちうのゆきやうやうやうやう 中条能宣  
 後千巻二 あつちうのゆきやうやうやうやう 中条能宣  
 玉葉雑六 あつちうのゆきやうやうやうやう 中条能宣  
 後拾遺下 あつちうのゆきやうやうやうやう 中条能宣

類聚の

地五



古今意二 古詩集一 古詩集二 古詩集三 古詩集四 古詩集五 古詩集六 古詩集七 古詩集八 古詩集九 古詩集十

古今意二	古詩集一	古詩集二	古詩集三	古詩集四	古詩集五	古詩集六	古詩集七	古詩集八	古詩集九	古詩集十
古詩集一	古詩集二	古詩集三	古詩集四	古詩集五	古詩集六	古詩集七	古詩集八	古詩集九	古詩集十	古詩集十一
古詩集二	古詩集三	古詩集四	古詩集五	古詩集六	古詩集七	古詩集八	古詩集九	古詩集十	古詩集十一	古詩集十二

古今意三	同墨滅	新拾遺三	拾遺卷三	蜂吟	風雅意二	山家集下	玉葉卷一	拾遺草	拾遺雜上	杖衣三	新葉神紙	山家集下	拾遺雜秋	杜桓	拾遺集二	同一	大和物語
山家集下	玉葉卷一	拾遺草	拾遺雜上	杖衣三	新葉神紙	山家集下	拾遺雜秋	杜桓	拾遺集二	同一	大和物語	山家集下	玉葉卷一	拾遺草	拾遺雜上	杖衣三	新葉神紙
山家集下	玉葉卷一	拾遺草	拾遺雜上	杖衣三	新葉神紙	山家集下	拾遺雜秋	杜桓	拾遺集二	同一	大和物語	山家集下	玉葉卷一	拾遺草	拾遺雜上	杖衣三	新葉神紙

古今意三

大和物語

後拾遺志

梅の花らりめりまてまみさし

ひととていさひそちそく

古今雜記

梅の花みまよききりけりひび

ひとくひさといひひもさ

新撰志六

山ありけ指の雲と吹ひひし

ひとたりする松の下座

月清集上

古の月影の如くつらり

ひととらふをたれ

新撰志上

いとつらき思ひのささけ

ひとたりぬ其のささけ

金葉雜事

相伝乃山杯戸井開りり

ひとたりぬ其のささけ

拾遺志五

ふりてふ心は思ひけれ

ひとたりぬ其のささけ

新撰志四

世もあつぬ秋のけりけり

ひとたりぬ其のささけ

同文

あふりけりけりけりけり

ひとたりぬ其のささけ

後撰志三

けりけりけりけりけり

ひとたりぬ其のささけ

拾遺志二

とらぬ花ををりけりけり

ひとたりぬ其のささけ

古今志一

ふらぬ花のゆふけりけり

ひとたりぬ其のささけ

拾遺愚癖

ゆき乃戸紙あけく水鏡

ひとあわぬ新撰つり

拾遺雜志

志のいりけりけりけり

ひとたりぬ其のささけ

拾玉集三

ゆりけりけりけりけり

ひとたりぬ其のささけ

後撰志三

あひそもつむ思ひのけり

ひとたりぬ其のささけ

新撰志三

あひそもつむ思ひのけり

ひとたりぬ其のささけ

月清集上

あひそもつむ思ひのけり

ひとたりぬ其のささけ

子哉雜中

山されば葉ありけりけり

ひとたりぬ其のささけ

後撰志三

あひそもつむ思ひのけり

ひとたりぬ其のささけ

拾玉集三

あひそもつむ思ひのけり

ひとたりぬ其のささけ

同

あひそもつむ思ひのけり

ひとたりぬ其のささけ

拾遺杖

あひそもつむ思ひのけり

ひとたりぬ其のささけ

同

あひそもつむ思ひのけり

ひとたりぬ其のささけ

拾遺負外下

あひそもつむ思ひのけり

ひとたりぬ其のささけ

月清集下

あひそもつむ思ひのけり

ひとたりぬ其のささけ

新古志四

あひそもつむ思ひのけり

ひとたりぬ其のささけ

拾玉集四

あひそもつむ思ひのけり

ひとたりぬ其のささけ

壬生二系上

あひそもつむ思ひのけり

ひとたりぬ其のささけ

新葉雜別

あひそもつむ思ひのけり

ひとたりぬ其のささけ

七

七

中務省宗良殿

聖徳太子 聖徳太子

拾遺書上 ぬくろく心ひひのようみの 人ゆつたまふあふりか 源親房

新撰古能潜 志くくあそいひ此まき柱 ひとしほひたまふあひひろふ

拾玉集二 香乃ちとけり神よりくさくさん 人こよあつ秋乃別紙

同六 桂乃戸をさしてぬく桂枝かま 人こぬねあふくさくさん

同七 夢の神狐志のつらきりうね 人まぬねあふり八巻よ

新子系三 中ふりもまき袖ふつりよ 人まといひりかたりとも

拾遺書上 秋事ぬと萩乃葉風なれん 人こまらぬまもれの骨

拾玉集三 朝乃うらふ葉れおまらぬも 人こまらぬまもれの骨

後撰撰系二 かくこひまきそまあふよあはに 人こまらぬまもれの骨

新撰撰系二 香乃ちとけり神よりくさくさん 人まぬねあふり八巻よ

同六 桂乃戸をさしてぬく桂枝かま 人こぬねあふくさくさん

同七 夢の神狐志のつらきりうね 人まぬねあふり八巻よ

新子系三 中ふりもまき袖ふつりよ 人まといひりかたりとも

拾遺書上 秋事ぬと萩乃葉風なれん 人こまらぬまもれの骨

拾玉集三 朝乃うらふ葉れおまらぬも 人こまらぬまもれの骨

後撰撰系二 かくこひまきそまあふよあはに 人こまらぬまもれの骨

新撰撰系二 香乃ちとけり神よりくさくさん 人まぬねあふり八巻よ

同六 桂乃戸をさしてぬく桂枝かま 人こぬねあふくさくさん

同七 夢の神狐志のつらきりうね 人まぬねあふり八巻よ

新子系三 中ふりもまき袖ふつりよ 人まといひりかたりとも

拾遺書上 秋事ぬと萩乃葉風なれん 人こまらぬまもれの骨

拾玉集三 朝乃うらふ葉れおまらぬも 人こまらぬまもれの骨

玉葉集二 ぬくろく心ひひのようみの 人ゆつたまふあふりか 惠慶法師

同秋下 志くくあそいひ此まき柱 ひとしほひたまふあひひろふ 二条院撰

後撰撰系二 香乃ちとけり神よりくさくさん 人まぬねあふり八巻よ 右場院撰

同六 桂乃戸をさしてぬく桂枝かま 人こぬねあふくさくさん 院中製

同七 夢の神狐志のつらきりうね 人まぬねあふり八巻よ 法皇撰

新子系三 中ふりもまき袖ふつりよ 人まといひりかたりとも 院中製

拾遺書上 秋事ぬと萩乃葉風なれん 人こまらぬまもれの骨 院中製

拾玉集三 朝乃うらふ葉れおまらぬも 人こまらぬまもれの骨 院中製

後撰撰系二 かくこひまきそまあふよあはに 人こまらぬまもれの骨 院中製

新撰撰系二 香乃ちとけり神よりくさくさん 人まぬねあふり八巻よ 院中製

同六 桂乃戸をさしてぬく桂枝かま 人こぬねあふくさくさん 院中製

同七 夢の神狐志のつらきりうね 人まぬねあふり八巻よ 院中製

新子系三 中ふりもまき袖ふつりよ 人まといひりかたりとも 院中製

拾遺書上 秋事ぬと萩乃葉風なれん 人こまらぬまもれの骨 院中製

榮延法師

玉葉交	陰方き外西のまひすすこ	いとさうりよの秋風ぞく	後帝後後
同其下	日照りやあつちの家のなぐほも	いとさうりよの山影のさけ	お大政大臣
金葉交	宥くともなほともあそむの家	いとさうりよの風のさけ	春宮太子
新葉春下	あつちのあつちのあつちのあつち	いとさうりよのさうりよ	お中納言
拾玉集六	あつちのあつちのあつちのあつち	いとさうりよのさうりよ	よみ人
後拾遺雜一	あつちのあつちのあつちのあつち	いとさうりよのさうりよ	
拾遺草	あつちのあつちのあつちのあつち	いとさうりよのさうりよ	
新葉交	あつちのあつちのあつちのあつち	いとさうりよのさうりよ	
拾玉集二	あつちのあつちのあつちのあつち	いとさうりよのさうりよ	中臣祐春
同六	あつちのあつちのあつちのあつち	いとさうりよのさうりよ	
壬生二下	あつちのあつちのあつちのあつち	いとさうりよのさうりよ	
新葉古五	あつちのあつちのあつちのあつち	いとさうりよのさうりよ	お大納言
後千恋一	あつちのあつちのあつちのあつち	いとさうりよのさうりよ	贈後二後
壬生二中	あつちのあつちのあつちのあつち	いとさうりよのさうりよ	
後撰卷六	あつちのあつちのあつちのあつち	いとさうりよのさうりよ	よみ人
新千恋一	あつちのあつちのあつちのあつち	いとさうりよのさうりよ	惟宗忠貞
後千恋一	あつちのあつちのあつちのあつち	いとさうりよのさうりよ	大政大臣
新拾巻一	あつちのあつちのあつちのあつち	いとさうりよのさうりよ	法眼行徒

新後卷一	あつちのあつちのあつちのあつち	いとさうりよのさうりよ	院大納言典侍
山家集上	あつちのあつちのあつちのあつち	いとさうりよのさうりよ	
風雅雜中	あつちのあつちのあつちのあつち	いとさうりよのさうりよ	儀子尚叙
新後卷一	あつちのあつちのあつちのあつち	いとさうりよのさうりよ	お内侍
後撰卷三	あつちのあつちのあつちのあつち	いとさうりよのさうりよ	貫之
新千恋上	あつちのあつちのあつちのあつち	いとさうりよのさうりよ	中書大臣
山家集下	あつちのあつちのあつちのあつち	いとさうりよのさうりよ	
風雅卷二	あつちのあつちのあつちのあつち	いとさうりよのさうりよ	
古今卷三	あつちのあつちのあつちのあつち	いとさうりよのさうりよ	
後撰卷二	あつちのあつちのあつちのあつち	いとさうりよのさうりよ	素還法師
後千恋一	あつちのあつちのあつちのあつち	いとさうりよのさうりよ	源氏氏下
風雅秋下	あつちのあつちのあつちのあつち	いとさうりよのさうりよ	式内親日
拾遺草	あつちのあつちのあつちのあつち	いとさうりよのさうりよ	
新拾巻二	あつちのあつちのあつちのあつち	いとさうりよのさうりよ	
後千恋上	あつちのあつちのあつちのあつち	いとさうりよのさうりよ	平光俊
同卷一	あつちのあつちのあつちのあつち	いとさうりよのさうりよ	二后法親王
金葉交上	あつちのあつちのあつちのあつち	いとさうりよのさうりよ	お僧正

類句

三十





拾遺集外	下むせふまやみらけは風乃	いひやまゆめがまひの
月清集上	ゑ士乃さきゆれはそつ雲れ	いひのまよなるべきま
後撰卷三	心つくまきぬさぬのりまて	いひのまよぬれぬむす
壬生二系下	我意へまればあの人をよそに	いひのまよすまきふり
風雅集上	みりけり茅野の様嘆きあり	いと目もそれぬめまき
新撰百五十四	いひそむまきとせきの成なり	いとひもまきすぢやせり
拾遺卷二	かいらてもありに物ををる地	いとひもれはまはる終ひ
古今卷一	千早振かめは下ろはゆふはき	いとひもまきどかひぬは
古今卷	古はゆりの山ををれち	いとひもまきさぬ日ほ
玉葉卷上	故ちさしひくう子日れ小松る	いとひもまきぬさるる
新撰古卷上	信濃かりて後ろの嶽乃をそに	いとひもまきぬ霧のり
新勅卷下	いづせん袖をそくせけり衣	いとひもまきぬ神のさる
風雅集下	夕附日入ぬるまはれさるは	いとひもまきぬ松をさる
新拾秋下	名みあへおれさる白ひり	いとひもまきぬ初霜
新撰古卷二	まよそいひもまきそまよ乃	いとひもまきぬ山乃あくる
新拾巻中	志をりせそ入みるのひあり	いとひもまきぬ山乃あくる
拾玉集四	法乃さるまきりさるる	いとひもまきぬ山乃あくる
新撰卷二	ちんてあつとあつとあつ	いとひもまきぬ山乃あくる

小町  
 民心乃定  
 大江匡衡下  
 在元葉平  
 よるく  
 同  
 小辨  
 從三位  
 左近中務  
 源因法師  
 源頼朝  
 法華雲維

壬生二系上	谷川水取るるあつ山	いひまきぬ今おれ白
同下	ありとそも朽ぬるあつ山	いひまきぬ今おれ白
拾玉集一	さつと山の中はあつ山	いひまきぬ今おれ白
古今卷	さつと山の中はあつ山	いひまきぬ今おれ白
拾遺集賀	いとつらうらわさつ山	いひまきぬ今おれ白
山家集下	さつと山の中はあつ山	いひまきぬ今おれ白
拾遺集外	夕くらめあつ山	いひまきぬ今おれ白
後撰二	雲野まきれたひのあつ山	いひまきぬ今おれ白
千載卷三	うらつと山の中はあつ山	いひまきぬ今おれ白
月清集下	さつと山の中はあつ山	いひまきぬ今おれ白
新古卷上	いとつらうらわさつ山	いひまきぬ今おれ白
風雅集三	いとつらうらわさつ山	いひまきぬ今おれ白
拾遺卷	いとつらうらわさつ山	いひまきぬ今おれ白
新古卷上	いとつらうらわさつ山	いひまきぬ今おれ白
新古卷上	いとつらうらわさつ山	いひまきぬ今おれ白
拾玉集七	いとつらうらわさつ山	いひまきぬ今おれ白
新撰古卷	いとつらうらわさつ山	いひまきぬ今おれ白

大僧正行  
 源宗長  
 源順  
 西行法師  
 大徳言愛教  
 中絶言定家

山家集上 石代の松風きけ 秋風もあはれ  
 玉葉巻四 秋風の松風きけ 秋風もあはれ  
 新葉巻四 今つらつらと秋風もあはれ  
 新葉巻六 今つらつらと秋風もあはれ  
 月清集上 今つらつらと秋風もあはれ  
 拾遺巻三 今つらつらと秋風もあはれ  
 新勅巻教 今つらつらと秋風もあはれ  
 山家集集 今つらつらと秋風もあはれ  
 拾遺巻七 今つらつらと秋風もあはれ  
 新古巻下 今つらつらと秋風もあはれ  
 新拾巻一 今つらつらと秋風もあはれ  
 拾遺巻外 今つらつらと秋風もあはれ  
 古今大系 今つらつらと秋風もあはれ  
 新勅巻教 今つらつらと秋風もあはれ  
 拾遺巻外 今つらつらと秋風もあはれ  
 後拾巻下 今つらつらと秋風もあはれ  
 新拾巻三 今つらつらと秋風もあはれ  
 新葉巻五 今つらつらと秋風もあはれ

新葉巻五 今つらつらと秋風もあはれ  
 後衣四 今つらつらと秋風もあはれ  
 拾遺巻四 今つらつらと秋風もあはれ  
 新古巻四 今つらつらと秋風もあはれ  
 新千巻上 今つらつらと秋風もあはれ  
 拾遺巻中 今つらつらと秋風もあはれ  
 千載巻四 今つらつらと秋風もあはれ  
 古今巻一 今つらつらと秋風もあはれ  
 後古巻一 今つらつらと秋風もあはれ  
 拾遺巻外 今つらつらと秋風もあはれ  
 洞花巻上 今つらつらと秋風もあはれ  
 山家集上 今つらつらと秋風もあはれ  
 新葉巻一 今つらつらと秋風もあはれ  
 拾遺巻三 今つらつらと秋風もあはれ  
 同雅巻四 今つらつらと秋風もあはれ  
 後衣一 今つらつらと秋風もあはれ  
 後拾遺巻三 今つらつらと秋風もあはれ  
 新葉巻 今つらつらと秋風もあはれ



凡雅秋下	き月やわらむの流しにのり	ひつりうらやう	後二伍乃子
新拾雅春	らうらぬのさかるとり	ひつりよあけ	津守國之
新葉集上	ありらるる今もまを	ひつりあやう	石津清盛直
後拾遺雜五	年つりかへは	ひつりあやう	伴勘大補
新葉集下	伐りてよとせ	ひつりあやう	又貞云
拾遺草上	らうららるる	ひつりあやう	
新拾秋上	をのつら	ひつりあやう	民乃の
拾遺真外上	吹風を動ら	ひつりあやう	
新千冬	秋とくやり	ひつりあやう	皇太后
新後拾秋上	天の赤月乃	ひつりあやう	律守國之
同志一	雪より	ひつりあやう	為の朝臣
後撰書下	清のり	ひつりあやう	元大伴
拾遺草上	らうららるる	ひつりあやう	
後拾尺教	天川を	ひつりあやう	法下中園
古今雜上	浦とく	ひつりあやう	よら
新後尺教	男山	ひつりあやう	太上天
後拾秋紙	むら	ひつりあやう	法下中園
月清集下		ひつりあやう	

拾遺草上	いさや	ひつりあやう	
古今物名	秋とれ	ひつりあやう	源乃
新拾草上	かき	ひつりあやう	兼大納言
新後古賀	秋の他	ひつりあやう	光明寺
山家集上	を	ひつりあやう	法眼源
拾遺真外上	海を	ひつりあやう	
新後拾尺教	苔の	ひつりあやう	
拾玉集三	月新	ひつりあやう	
月清集下	き月	ひつりあやう	若原親威
千載秋上	あ	ひつりあやう	宗法
同	玉	ひつりあやう	
山家集上	清	ひつりあやう	
同下	き	ひつりあやう	
玉葉秋下	山	ひつりあやう	九條
後拾雅秋紙	い	ひつりあやう	赤僧
新葉雜上	な	ひつりあやう	
拾遺草下	あ	ひつりあやう	
新千秋紙	を	ひつりあやう	

玉葉冬  
秋のむね  
拾遺集四  
後拾遺秋上  
新葉賀  
後拾遺秋上  
月清集上  
新葉賀  
拾遺集三  
風雅尺教  
新葉尺教  
秋千其下  
古今雅下  
千載雅下  
拾遺集三  
月清集上

玉葉冬  
秋のむね  
拾遺集四  
後拾遺秋上  
新葉賀  
後拾遺秋上  
月清集上  
新葉賀  
拾遺集三  
風雅尺教  
新葉尺教  
秋千其下  
古今雅下  
千載雅下  
拾遺集三  
月清集上

玉葉冬  
秋のむね  
拾遺集四  
後拾遺秋上  
新葉賀  
後拾遺秋上  
月清集上  
新葉賀  
拾遺集三  
風雅尺教  
新葉尺教  
秋千其下  
古今雅下  
千載雅下  
拾遺集三  
月清集上

玉葉冬  
秋のむね  
拾遺集四  
後拾遺秋上  
新葉賀  
後拾遺秋上  
月清集上  
新葉賀  
拾遺集三  
風雅尺教  
新葉尺教  
秋千其下  
古今雅下  
千載雅下  
拾遺集三  
月清集上

玉葉冬  
秋のむね  
拾遺集四  
後拾遺秋上  
新葉賀  
後拾遺秋上  
月清集上  
新葉賀  
拾遺集三  
風雅尺教  
新葉尺教  
秋千其下  
古今雅下  
千載雅下  
拾遺集三  
月清集上

新千其賀  
拾遺集上  
拾遺集上  
新葉賀  
秋千其下  
古今雅下  
千載雅下  
拾遺集三  
月清集上

新千其賀  
拾遺集上  
拾遺集上  
新葉賀  
秋千其下  
古今雅下  
千載雅下  
拾遺集三  
月清集上

新千其賀  
拾遺集上  
拾遺集上  
新葉賀  
秋千其下  
古今雅下  
千載雅下  
拾遺集三  
月清集上

新千其賀  
拾遺集上  
拾遺集上  
新葉賀  
秋千其下  
古今雅下  
千載雅下  
拾遺集三  
月清集上

新千其賀  
拾遺集上  
拾遺集上  
新葉賀  
秋千其下  
古今雅下  
千載雅下  
拾遺集三  
月清集上

類

七

新千其賀

漢語

とてよめりての秋のこころを

いづれも世のあはれ物 三統の志

秋上

いづれも世のあはれ物

いづれも世のあはれ物 一条由春

拾遺草

秋の月まはれゆく

いづれも世のあはれ物

古今志一

秋の月まはれゆく

いづれも世のあはれ物

壬生二系上

いづれも世のあはれ物

いづれも世のあはれ物

後撰志四

いづれも世のあはれ物

いづれも世のあはれ物 大楠

壬生二系中

いづれも世のあはれ物

いづれも世のあはれ物

同上

いづれも世のあはれ物

いづれも世のあはれ物

後撰秋上

いづれも世のあはれ物

いづれも世のあはれ物

後撰秋中

いづれも世のあはれ物

いづれも世のあはれ物

壬生二系下

いづれも世のあはれ物

いづれも世のあはれ物

拾遺草

いづれも世のあはれ物

いづれも世のあはれ物

金葉雜上

いづれも世のあはれ物

いづれも世のあはれ物

風雅秋上

いづれも世のあはれ物

いづれも世のあはれ物

後撰撰替

いづれも世のあはれ物

いづれも世のあはれ物

新拾遺

いづれも世のあはれ物

いづれも世のあはれ物

拾遺草

いづれも世のあはれ物

いづれも世のあはれ物

山家集上

いづれも世のあはれ物

いづれも世のあはれ物

拾遺草

いづれも世のあはれ物

いづれも世のあはれ物

後撰賀

いづれも世のあはれ物

いづれも世のあはれ物

新古今

いづれも世のあはれ物

いづれも世のあはれ物

後撰秋中

いづれも世のあはれ物

いづれも世のあはれ物

拾遺草

いづれも世のあはれ物

いづれも世のあはれ物

同上

いづれも世のあはれ物

いづれも世のあはれ物

新古今上

いづれも世のあはれ物

いづれも世のあはれ物

拾遺草

いづれも世のあはれ物

いづれも世のあはれ物

新古今賀

いづれも世のあはれ物

いづれも世のあはれ物

新古今上

いづれも世のあはれ物

いづれも世のあはれ物

後撰秋下

いづれも世のあはれ物

いづれも世のあはれ物

新撰首篇

いづれも世のあはれ物

いづれも世のあはれ物

新拾秋上

いづれも世のあはれ物

いづれも世のあはれ物

後撰秋上

いづれも世のあはれ物

いづれも世のあはれ物

新古今

いづれも世のあはれ物

いづれも世のあはれ物

新古今

いづれも世のあはれ物

いづれも世のあはれ物

類

類





新華冬

村まはるけのゆくまはるき

いづれのゆくまはるき

比叡宮太政

新千冬

ぬきまらり山あひの神風

いづれのゆくまはるき

中々天皇

新勅難

とみ衣るぬれとあま

いづれのゆくまはるき

康賀王母

新古冬三

まをまるとゆりんと

いづれのゆくまはるき

比叡宮

新古冬

みまをるとゆりんと

いづれのゆくまはるき

比叡宮

乙女

かきつりてゆくまはるき

いづれのゆくまはるき

比叡宮

新古冬

まをまるとゆりんと

いづれのゆくまはるき

比叡宮

拾遺貞上

すまをるとゆりんと

いづれのゆくまはるき

比叡宮

風雅冬

山あひまらり神風

いづれのゆくまはるき

比叡宮

新千冬

ぬきまらり山あひの神

いづれのゆくまはるき

比叡宮

同

ぬきまらり山あひの神

いづれのゆくまはるき

比叡宮

玉葉難一

枯らるる風をまらぬ

いづれのゆくまはるき

比叡宮

拾遺難秋

まをまるとゆりんと

いづれのゆくまはるき

比叡宮

壬生二系中

まをまるとゆりんと

いづれのゆくまはるき

比叡宮

玉葉難三

まをまるとゆりんと

いづれのゆくまはるき

比叡宮

壬生二系中

まをまるとゆりんと

いづれのゆくまはるき

比叡宮

幻

まをまるとゆりんと

いづれのゆくまはるき

比叡宮

新拾遺難旅

まをまるとゆりんと

いづれのゆくまはるき

比叡宮

新古賀

縁のひてまはるき

いづれのゆくまはるき

比叡宮

拾遺難草

まをまるとゆりんと

いづれのゆくまはるき

比叡宮

拾玉集六

まをまるとゆりんと

いづれのゆくまはるき

比叡宮

新拾遺下

まをまるとゆりんと

いづれのゆくまはるき

比叡宮

千載離別

まをまるとゆりんと

いづれのゆくまはるき

比叡宮

新拾遺

まをまるとゆりんと

いづれのゆくまはるき

比叡宮

新古上

まをまるとゆりんと

いづれのゆくまはるき

比叡宮

新古上

まをまるとゆりんと

いづれのゆくまはるき

比叡宮

明石

まをまるとゆりんと

いづれのゆくまはるき

比叡宮

拾遺愚草

まをまるとゆりんと

いづれのゆくまはるき

比叡宮

新千尋旅

まをまるとゆりんと

いづれのゆくまはるき

比叡宮

新拾遺冬

まをまるとゆりんと

いづれのゆくまはるき

比叡宮

新古冬三

まをまるとゆりんと

いづれのゆくまはるき

比叡宮

壬生二系中

まをまるとゆりんと

いづれのゆくまはるき

比叡宮

新拾遺旅

まをまるとゆりんと

いづれのゆくまはるき

比叡宮

新拾遺旅

まをまるとゆりんと

いづれのゆくまはるき

比叡宮



後千代

新千代

玉葉集

拾遺集

新千代

新千代

月清集

玉葉集

新千代

玉葉集

新千代

山家集

玉葉集

拾遺集

後千代

新千代

玉葉集

拾遺集

新千代

新千代

月清集

玉葉集

拾遺集

新千代

新千代

後千代

後千代

玉のころも...の法の

そよこも...の法乃門

十日...の法乃門

ふつ...の法乃門

あつ...の法乃門

あつ...の法乃門

あつ...の法乃門

あつ...の法乃門

あつ...の法乃門

あつ...の法乃門

あつ...の法乃門

あつ...の法乃門

あつ...の法乃門

あつ...の法乃門

あつ...の法乃門

あつ...の法乃門

あつ...の法乃門

あつ...の法乃門

あつ...の法乃門

あつ...の法乃門

あつ...の法乃門

あつ...の法乃門

あつ...の法乃門

あつ...の法乃門

あつ...の法乃門

あつ...の法乃門

あつ...の法乃門

ひら...の法乃門

ひら...の法乃門

ひら...の法乃門

ひら...の法乃門

ひら...の法乃門

ひら...の法乃門

ひら...の法乃門

ひら...の法乃門

ひら...の法乃門

ひら...の法乃門

ひら...の法乃門

ひら...の法乃門

ひら...の法乃門

ひら...の法乃門

ひら...の法乃門

ひら...の法乃門

ひら...の法乃門

ひら...の法乃門

ひら...の法乃門

ひら...の法乃門

ひら...の法乃門

ひら...の法乃門

ひら...の法乃門

ひら...の法乃門

ひら...の法乃門

ひら...の法乃門

ひら...の法乃門

皇太子

道基

安室

皇太子

安室

皇太子

安室

皇太子

安室

皇太子

安室

皇太子

安室

皇太子

安室

皇太子

安室

皇太子

安室

皇太子

安室

皇太子

安室

皇太子

安室

皇太子

安室

詞の意

類例

三

このいけよわらぬあか風きひくまうりゆあふくまきふく  
大徳院撰

新古今

早苗より山奥のひかりりたうひくまふたうまほきふくまき  
大徳院撰

金葉春

あつたうらそ谷川をまきふたひくまふたふたふくまき  
同

子載志二

うけくハ後のうらと神のまひひくまふたふたふくまき  
得親太文書

玉葉秋夜

あまてう月夜を神のまひひくまふたふたふくまき  
大徳院撰

新葉秋夜

あまてう月夜を神のまひひくまふたふたふくまき  
法華実源

新法雑中

心をまひのねるまひひくまふたふたふくまき  
得親太文書

新法雑中

心をまひのねるまひひくまふたふたふくまき  
性道法師

新法雑中

心をまひのねるまひひくまふたふたふくまき  
二条院撰

同雑中

心をまひのねるまひひくまふたふたふくまき  
太政大臣

拾遺貞琴

下草の上をうらまひひくまふたふたふくまき  
正三位知家

新法撰雜

心をまひのねるまひひくまふたふたふくまき  
法三行誌

新法古集

心をまひのねるまひひくまふたふたふくまき  
法三行誌

拾玉集一

心をまひのねるまひひくまふたふたふくまき  
法三行誌

新法雑中

心をまひのねるまひひくまふたふたふくまき  
法三行誌

拾玉集三

心をまひのねるまひひくまふたふたふくまき  
法三行誌

山家集上

心をまひのねるまひひくまふたふたふくまき  
法三行誌

同下

心をまひのねるまひひくまふたふたふくまき  
法三行誌

新古今上

心をまひのねるまひひくまふたふたふくまき  
法三行誌

金葉上

心をまひのねるまひひくまふたふたふくまき  
法三行誌

新法雑中

心をまひのねるまひひくまふたふたふくまき  
法三行誌

新法上

心をまひのねるまひひくまふたふたふくまき  
法三行誌

新法古集

心をまひのねるまひひくまふたふたふくまき  
法三行誌

新法秋下

心をまひのねるまひひくまふたふたふくまき  
法三行誌

新法遺志三

心をまひのねるまひひくまふたふたふくまき  
法三行誌

新古今二

心をまひのねるまひひくまふたふたふくまき  
法三行誌

新古今冬

心をまひのねるまひひくまふたふたふくまき  
法三行誌

拾玉集一

心をまひのねるまひひくまふたふたふくまき  
法三行誌

修勢集

心をまひのねるまひひくまふたふたふくまき  
法三行誌

新古今二

心をまひのねるまひひくまふたふたふくまき  
法三行誌

新古今上

心をまひのねるまひひくまふたふたふくまき  
法三行誌

拾遺雜上

心をまひのねるまひひくまふたふたふくまき  
法三行誌

新古今冬

心をまひのねるまひひくまふたふたふくまき  
法三行誌

新法上

心をまひのねるまひひくまふたふたふくまき  
法三行誌

新法上

心をまひのねるまひひくまふたふたふくまき  
法三行誌

新法上

心をまひのねるまひひくまふたふたふくまき  
法三行誌

類例

三

法三行誌



伴勢物茂 派まよりりたる小池の候ひは ひとくくを 感五ふあひを  
 拾遺愚障 和むとぬ車乃海はともひて ひとくく 和ふたの百菊  
 拾遺貪外上 白露乃初て乃るそこをま ひとくく 秋は月をうまき  
 拾遺冬 あり重も初のうまうりぬぬ ひとくく きてぬ神をまき  
 後古雅下 白渚のりをまその山乃ま初は ひとくく ぬぬ若前ひはり  
 月清集下 ありあり仲は波は候ひさき ひとくく 心をぬ中候は  
 後千雅新 林よはいく世ぬらん林業乃 ひとくく 心をぬひひてり  
 新拾物名 神よはいく代つぬらん林業乃 ひとくく 心をぬひひてり  
 金葉志下 芦よまはるをまらあまき ひとくく ひくの善通のまぬ  
 後古志又 ありあり中り世ありてく ひとくく 心をぬひひてり  
 拾玉集又 ありてくを代ゆて君もあつ候 ひとくく 心をぬひひてり  
 拾遺愚障 ありてくを代ゆて君もあつ候 ひとくく 心をぬひひてり  
 後拾賀 ありてくを代ゆて君もあつ候 ひとくく 心をぬひひてり  
 拾遺愚障 ありてくを代ゆて君もあつ候 ひとくく 心をぬひひてり  
 古今秋上 ありてくを代ゆて君もあつ候 ひとくく 心をぬひひてり  
 後拾賀 ありてくを代ゆて君もあつ候 ひとくく 心をぬひひてり  
 拾遺愚障 ありてくを代ゆて君もあつ候 ひとくく 心をぬひひてり  
 後古志下 ありてくを代ゆて君もあつ候 ひとくく 心をぬひひてり

新古賀 万代の松よゆれる秋の月 ひとくく しかけをまもはひ  
 同 ありてくを代ゆて君もあつ候 ひとくく 心をぬひひてり  
 新古賀 ありてくを代ゆて君もあつ候 ひとくく 心をぬひひてり  
 拾遺愚障 ありてくを代ゆて君もあつ候 ひとくく 心をぬひひてり  
 同賀 ありてくを代ゆて君もあつ候 ひとくく 心をぬひひてり  
 後拾遺雅 ありてくを代ゆて君もあつ候 ひとくく 心をぬひひてり  
 五葉志回 ありてくを代ゆて君もあつ候 ひとくく 心をぬひひてり  
 拾遺雅志 ありてくを代ゆて君もあつ候 ひとくく 心をぬひひてり  
 新古賀 ありてくを代ゆて君もあつ候 ひとくく 心をぬひひてり  
 後拾遺賀 ありてくを代ゆて君もあつ候 ひとくく 心をぬひひてり  
 五葉雅三 ありてくを代ゆて君もあつ候 ひとくく 心をぬひひてり  
 後撰秋下 ありてくを代ゆて君もあつ候 ひとくく 心をぬひひてり  
 新古賀 ありてくを代ゆて君もあつ候 ひとくく 心をぬひひてり  
 新勅賀 ありてくを代ゆて君もあつ候 ひとくく 心をぬひひてり

新抄拾遺集	和田津海のしほ乃殿あまふ	いささきそら	世榮
新抄雑下	れらうと君さうそをそむの	いささきの	大納言成
拾遺雑賀	ちとせうつてのそむいひ	いささきの	権中納言
新抄拾遺	あつらうとまらさきわたり	いささきの	侍
拾遺集	聖徳天皇のそむいひ	いささきの	右大納言
昔本	まうらうとまらさき	いささきの	
拾遺集	梓弓あまのうら	いささきの	源
新抄古	あつらうとまらさき	いささきの	大納言
後拾遺	れらうとまらさき	いささきの	権中納言
千載	外山乃りしそむいひ	いささきの	古正大臣
新抄集	思きわりのまらさき	いささきの	素直法師
新抄拾遺	いつらうとまらさき	いささきの	
山家集	人よれあまのそむいひ	いささきの	
後拾遺	れらうとまらさき	いささきの	
新抄集	いささきの	いささきの	
後拾遺	いささきの	いささきの	
金井	いささきの	いささきの	

大和	なるそむいひ	いささきの	
新抄集	恨てのうら	いささきの	
拾遺集	つれもろまらさき	いささきの	
拾遺集	いささきの	いささきの	
同六	君さうとまらさき	いささきの	
同二	きんぐらとまらさき	いささきの	
新抄折句	あまのそむいひ	いささきの	
後撰集	あまのそむいひ	いささきの	
拾遺集	あまのそむいひ	いささきの	
千載	あまのそむいひ	いささきの	
後拾遺	あまのそむいひ	いささきの	
大和	あまのそむいひ	いささきの	
拾遺集	あまのそむいひ	いささきの	
山家集	あまのそむいひ	いささきの	
玉鬘	あまのそむいひ	いささきの	
新抄集	あまのそむいひ	いささきの	
拾遺集	あまのそむいひ	いささきの	

新拾尺教 ありと乃才ふゆふまみそ

拾玉集七 かよ出る湯のふりやぶるみよ

大和物語 乃ありゆゆのやそにんかふれ

玉葉集二 夕暮のやうす人をこひうれ

後拾遺上 播磨のやうすあまきうらもの

壬生三平中 鳴るその埜のむらあまこを

後拾遺拾名 かく衣きうけけるあのみ書物

新古今 みそぢをいふはれぬかか衣

新撰古體集 却りまこつてさか人縁うら

同秋下 秋葉はあらまつそくまゆなり

新古今 をのつりうらつらあま衣

新拾遺 約束の月とこころんきひ衣

新古今 いつくさう今更らまをかり衣

ひものくまをうらむいふ

ひものきこひ 片恋ひ

ひものちなる物うまはる

ひものうけけまよあ

ひものけうあのもまの

ひものうまの風そ清き

ひものゆらねよとる廠み

ひものゆらねよ波きも

ひものゆらねあらしの山哉

ひものゆらねの衣うり金

ひものゆらねのあけまこ

ひものゆらねのまの山

ひものゆらねのまのあけま

終言女

松我門院

先師入元  
おぼやう末

よみへし

費之

法下宋親

民乃乃的

おぼやう末

おぼやう末



